

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ほしのこ大森			
○保護者評価実施期間	2025年12月1日			2025年12月19日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23名	(回答者数)	16名(回収率76.2%)
○従業者評価実施期間	2026年1月23日			2026年1月26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月26日			

## ○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童の特性を踏まえ、それぞれの課題に合わせた療育が展開されている	指導員間で情報共有、意見交換を行い、児童引き渡し時やモニタリング等で保護者の方とお話しする機会を設けることで、今その児童に必要な支援をより合わせて考え、提供できるように体制を整えております。児童の発達段階に配慮しつつ、集団生活の中でどのように課題にアプローチするのか提案し、様々な角度から実践しております。	職員の専門性を高めていき、より児童に必要な支援を行っていきます。また、児童が自信を持って取り組めることを増やせるよう行動に対する前向きな声掛けを意識的に行い、それぞれの強みを伸ばしてまいります。
2	保護者の方との情報共有	手短ではありますが、児童引き渡し時やモニタリング等で保護者の方と直接お話しする機会を作っています。学校やご自宅での様子などもお聞きし、支援の方針について考え、療育に反映できるようにしております。また、契約書等内容変更時には個別にご説明させていただいております。	日々の児童引き渡し時のフィードバックは手短になってしまふ為、ご相談等ありましたら別途お話しをお聞きする機会を設けたり、家族支援について提案させていただきます。
3	職員同士で連携が取れている	ミーティング時、情報共有を行い、職員全体に業務がいきわたるようにしています。その日の利用児童によってレクリエーション内容を話し合ったり、療育後など児童の情報共有、意見交換の場を設けることで職員同士が共通認識を持つことにも繋がっています。また、ホワイトボードを用いることで業務の明確化を図り、効率かつ職員間での連携を取っています。	実施予定ではありますが、職員研修の機会を増やし療育や事務に対する知識を増やし、更に職員の質を上げていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	グループ相談やペアレントトレーニングの実施	保護者支援として児童発達向けの就学前グループ相談は実施しておりますが、放ディー向けのグループ相談やペアレントトレーニングは実施できておりません。保護者の方からご要望があつた為、開催の機会を検討してまいります。	保護者の方からどのような内容でグループ相談やペアレントトレーニングを行いたいのか意見を聞き取り、ニーズに合った実施を検討してまいります。
2	保護者への各種マニュアルの周知・説明	避難訓練実施時にはHUGやSNSにて、周知できておりますが、安全対策や嘔吐処理時の対応等の各種マニュアルに沿った計画・訓練が行われていることは、十分に周知できていませんでした。	新規契約時やモニタリング時に災害時の対応や各種マニュアル等を策定しており、研修や訓練も行っていることを周知していくようにします。
3	地域交流の充実	夏祭りやクリスマス会、お出かけ療育など行っておりますが、放課後児童クラブや児童館などの交流は実施できておりません。	引き続き、祝日や長期休暇の際にお出かけ療育等地域交流の機会を設けてまいりますが、児童館等地域のお子様との交流に関するご要望があれば、実施を検討してまいります。